

山林保全(山地災害および山林買収) 監視モニター研修会を開催しました!

6月29日永平寺町役場において、各地域に設置している山林保全(山地災害および山林買収)監視モニターの皆様を対象に研修会を開催しました。

この研修は、山地災害の未然防止・軽減を図ることを目的に、モニターの皆様の山地災害に関する知識を深め、防災意識を高めるために毎年開催しています。

(林業部 春日 好一)



研修会の様子

今年は永平寺町の18名のみなさまに参加して頂きました。

★山林保全監視モニターとは?

森林および山間農耕地に起因する災害を未然に防止するため、山地災害に結びつく情報等を収集し、市・町に報告を行うとともに、地域住民の防災意識を高める役割があります。

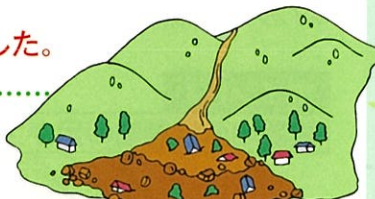
★どんなことをするの(業務内容)?

- ① 山地災害などに関する情報の提供
- ② 山林買収に関する情報の提供
- ③ 山林や水源の保全に関する意識の啓発

不審な者から山林の買収をもちかけられた!



家の裏山が崩れそう!



山地災害を
発見した場合の
連絡先

- 福井市 農林水産部林業水産課
- 永平寺町 農林課
- 県 福井農林総合事務所 林業部事業課

☎0776-20-5430
☎0776-61-3947
☎0776-21-8214



特用林産功労者表彰を受賞しました

この賞は、永年きのご類、木質系燃料などの栽培・加工・経営の分野において優れた功績があった方に、日本特用林産振興会から贈られる賞で、このたび福井市本郷木炭生産組合の杉本英夫さん(写真右)が受賞しました。

平成27年度には、県内生産量の4割に当たる約16,000kgもの木炭を、土壌改良材として利用される粉炭も3,500kg生産しています。さらに、菊の花のように美しい模様でお茶炭としても高く評価される「菊炭」の生産を新たに始めており、県外先進地への視察や炭窯の整備等に熱心に取り組んでいます。

また、平成26年からは、炭焼き生産者の団体である「福井炭やきの会」の会長として、会員の技術向上研修会や県内イベントでの木炭普及PR活動を実施するなど、炭焼きの普及、後継者の育成にも尽力されており、今後の活躍も期待されます。

(林業部 和多田 浩樹)



編集後記

日増しに暑くなる毎日ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。「いちほまれ」の試験栽培が始まり、来年からの本格的な生産が待ち遠しくなってきましたね。本誌でも「いちほまれ」の魅力を含め、旬な情報を発信していきます! (企画振興室 山岸 高臣)

福井県 発行:福井農林総合事務所
〒910-8555 福井市松本3丁目16-10 (福井合同庁舎内)
TEL 企画振興室(直通) 0776-21-8201
農業経営支援部(直通) 0776-21-8209
林業部(直通) 0776-21-8213
農村整備部(直通) 0776-21-8216
E-Mail:fuku-noso@pref.fukui.lg.jp



5月15日に「いちほまれ」の田植え式が永平寺町光明寺の水田で行われました。

田植え式には、西川知事や河合町長、生産者の農事組合法人エコファーム光明寺、大本山永平寺の小林正道監院、地元園児、「いちほまれ」を連想させるお名前の方々や関係者等、約70名が参加し、手植えを行いました。

「いちほまれ」は県が平成23年から6年かけて20万種の中から選抜したお米です。「絹のような白さと艶」、「口に広がる優しい甘さ」、「粒感と粘りの最高の調和」をもっており、一般社団法人 日本穀物検定協会の食味官能評価において高い評価を得ています。コシヒカリと比較し収穫期は1週間ほど遅く、倒伏やいもち病にも強い、作りやすい品種となっています。

福井地区管内では本年度26名の生産者が計23haで「いちほまれ」の試験栽培を行っています。

農林総合事務所やJAなどが栽培技術の検証を行い、来年度から本格生産を開始します。

これからは、生産現場からの情報を発信しつつ、食味ランキング特A獲得に向けた栽培技術の定着、首都圏での販路獲得のための高級ブランド米としてのイメージづくりに努めます。

(農業経営支援部 牧田康宏)

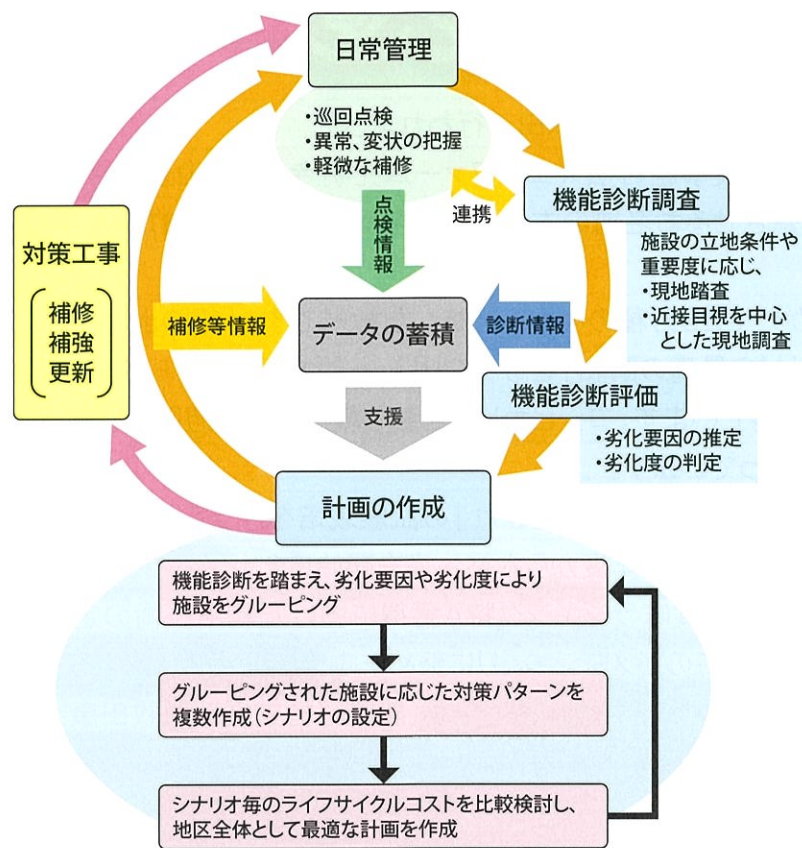


基幹水利施設 ストックマネジメント事業

福井足羽地区

ストックマネジメントとは

施設の機能がどのように低下していくのか、どのタイミングで、どのような対策が必要かを検討し、施設の機能保全を効率的に実施することを通じて、施設の役割を十分に発揮できるよう長寿命化を図り、ライフサイクルコストを低減する取組み。



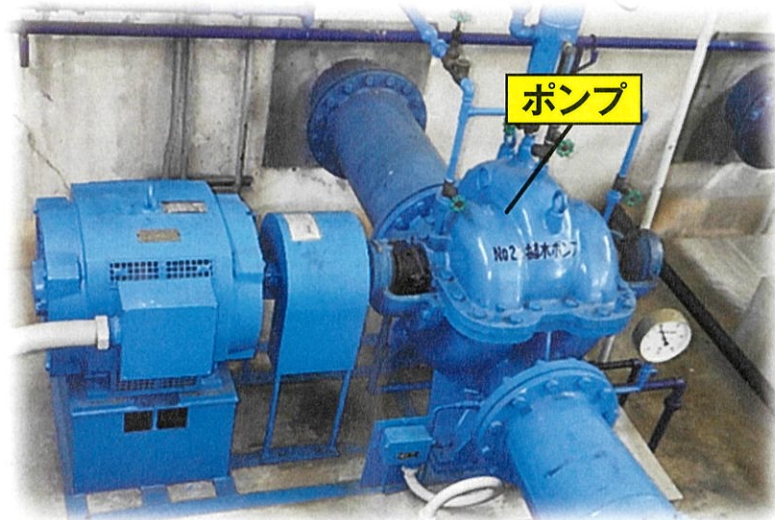
福井農林総合事務所では、平成26年度から福井足羽地区の揚水機場(ポンプ場)の改修工事を行っています。対象となるポンプ場は8か所(各機場に2機ずつ)あり、いずれも建設から約30年が経過しているため、老朽化による設備の故障が多く、改修を行うものです。

この事業はストックマネジメントの考えに基づき定めた設備の保全計画を作成し、老朽化した揚水機場内のポンプや電気設備等を改修しており、計画的に補修等を行うことで、設備の長寿命化を図っています。

この考え方では、工事をすればそこで終わりではなく、今後も適切な日常管理や定期的な機能診断調査が必要です。

一見すると健全に見え、日ごろは何気なく利用している設備も、内部に損傷があるかもしれません。施設の長寿命化、安定した営農のために、定期的なメンテナンスを実施しましょう。

(農村整備部 吉田 康文)



イノシシ対策

早生の刈取前に
電気柵の再確認をしましょう

ポイント①
電線の高さは20cm刻み

20cm
20cm

電気柵は怖くないんだ!!

ポイント②
定期的に電圧を測る

点検は、アース式テスターで電圧を測定し、4000ボルト以上を確保しましょう。電圧が落ちているとイノシシは恐怖心を持ちません。雑草の接触も電圧低下の原因です。注意しましょう。

ポイント③
設置場所は動物の足が土に触れる位置で

道路ギリギリに設置

前足がアルファルト

十分な電気が流れない

効果なし

アスファルトや砂利は電気を通しにくいので、電撃効果は半減します。

ポイント④
アース棒は地中深くしっかり差し込む

アース棒は完全に地中に埋めましょう。数本ある場合は、幅広く設置しましょう。

ポイント⑤
ガイシはイノシシ側に

支柱が押せちゃうよ!

ガイシが内向きだと柵ごと押し倒されやすくなります。

資料中に記載のイラストは農林水産省監修「野生鳥獣被害防止マニュアル」より引用しています。
(農業経営支援部 木下 慎也)

観光客を受け入れて、地域活性化!

中山間地域の人口減少や高齢化の課題に対応するため、県では農家民宿等の整備による交流人口の増加、地域の活性化の支援を行っています。福井市殿下地区では、地域住民やNPO法人、行政機関などが連携し、農村の地域資源を活用した商品開発や都会からの観光客の受入れなど、地域を盛り上げる活動に取り組んでいます。

去る6月1日には台湾から28名の高校生を受け入れ、地区内6か所の農家民宿に分かれて一泊してもらいました。高校生は、和食の調理方法や仏壇へのお参りの作法など、地域の文化や伝統を学び、また緑豊かな里山の風景に魅力を感じていました。

こうした交流活動を通じて、地域住民も改めて地域の良さを再認識するとともに、地域活性化の取組みに対する意欲向上にも繋がっています。

(農業経営支援部 山影 祐也)

